

宗教施設の分布とその形成要因 に関する考察

—富山県氷見市を事例として—

人文地理学研究室4年
清水 恵

1

目次

- I はじめに
 - ・既存研究
 - ・研究目的
 - ・研究方法
- II 研究対象地域概要
- III 「真宗王国」北陸の仏教
- IV 富山県氷見市の仏教
- V 仏教寺院の分布の形成要因に関する考察
- VI おわりに



2

I はじめに(既存研究)

宗教の分布・伝播を扱う宗教地理学研究(一部)

・嶋田・山根(2010)

神社の立地特性を考察



・高田ほか(2012)

被災した神社と被災しなかった神社の違い



3

I はじめに(既存研究)

宗教の分布・伝播を扱う宗教地理学研究(一部)

・永幡(1983、2013)

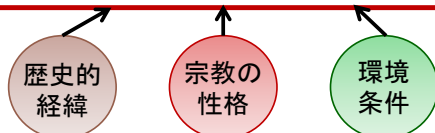
北海道における神社および仏教寺院の
分布の形成要因を考察



4

I はじめに(研究目的)

宗教分布の形成要因を考察すること



5

I はじめに(研究方法)

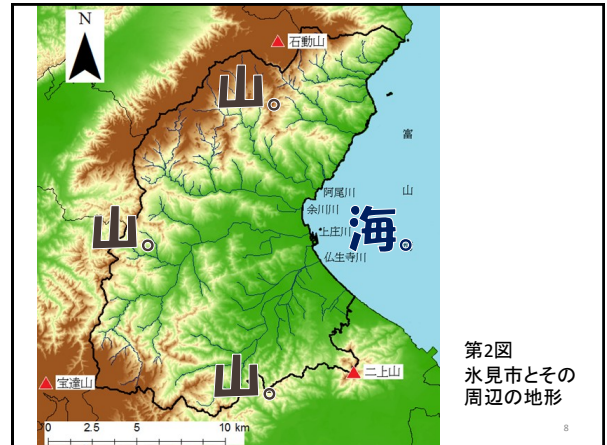
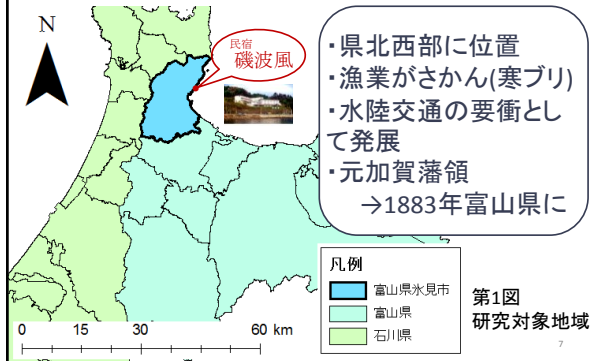
富山県氷見市(浄土真宗の信仰がさかん)

➡ **仏教寺院(浄土真宗)の分布**を扱う

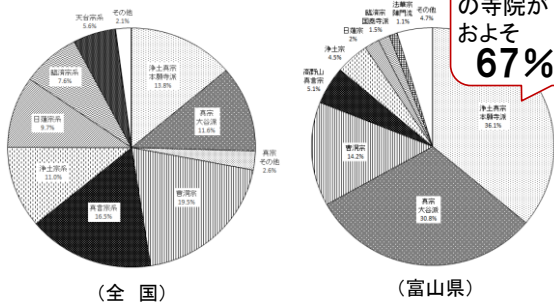
～手順～



Ⅱ 研究対象地域概要



Ⅲ 「真宗王国」北陸の仏教



北陸→浄土真宗の信仰がさかんな地域

～浄土真宗とは～

宗祖: 親鸞
本尊: 阿弥陀如来
教え: 『他力本願』
念仏を唱えることで
阿弥陀如来に救われることを説いている。



親鸞 (1173～1263)



10

～浄土真宗とは～



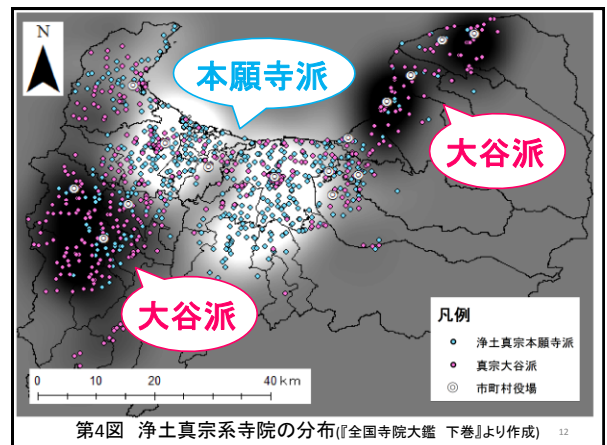
浄土真宗本願寺派
本山: 龍谷山本願寺
(西本願寺)



写真: 真宗教団連合HPより
真宗大谷派
本山: 東本願寺

教義上の大きな違いはない

11



北陸(越中中心)における浄土真宗の歴史

14世紀 越中に浄土真宗が伝播

1390年 綽如(第5代)井波に瑞泉寺建立

北陸地方で本願寺の勢力拡大を試みる

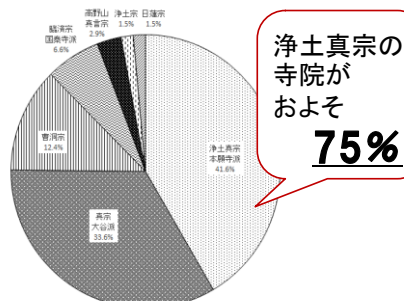
1471年 蓮如(第8代)吉崎御坊を建立

本願寺勢力が飛躍的に拡大

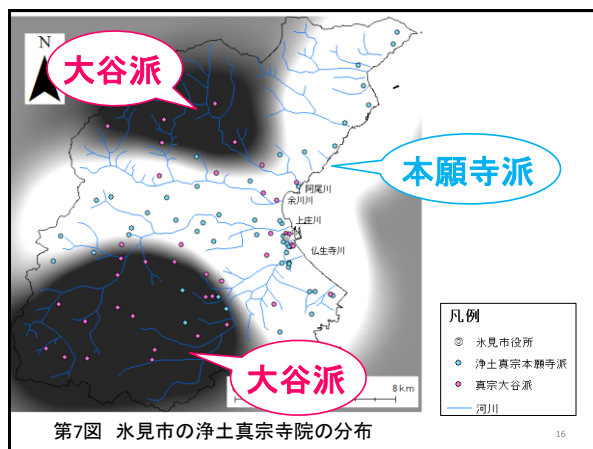
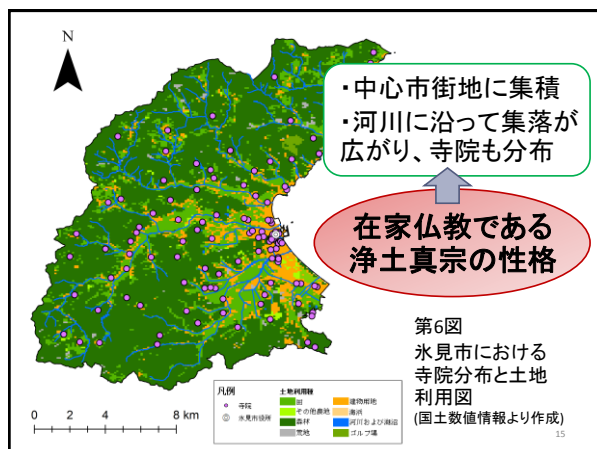
15～16世紀 本願寺門徒による一向一揆

加賀藩では本願寺が国を支配

IV 富山県氷見市の仏教



第5図 氷見市における仏教系宗教法人の宗派別構成比
(氷見市『氷見市の統計 平成25年版』より作成)



氷見における仏教の歴史

平安時代 多くの真言宗寺院

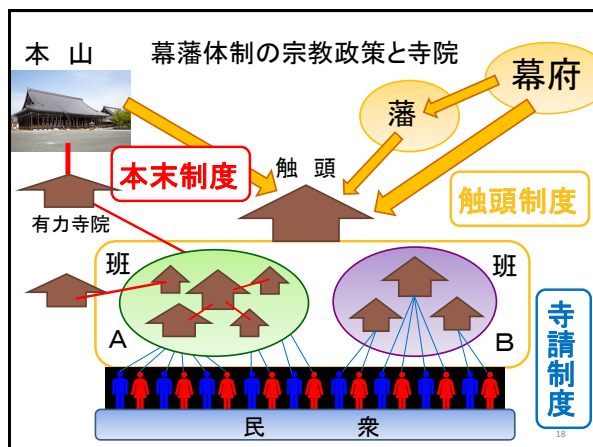
石動山の石動寺の存在

鎌倉時代 時宗の勢力拡大

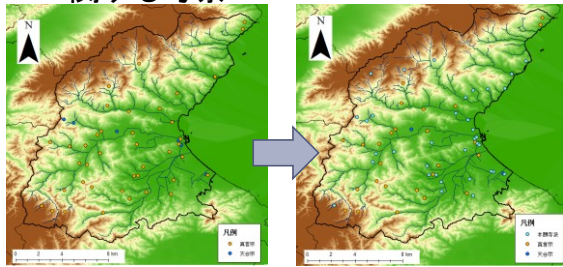
日本海交易の 要所で活動

1471年 蓮如(第8代)吉崎御坊を建立

氷見においても本願寺勢力が
飛躍的に拡大

蓮如
(1415~1499)

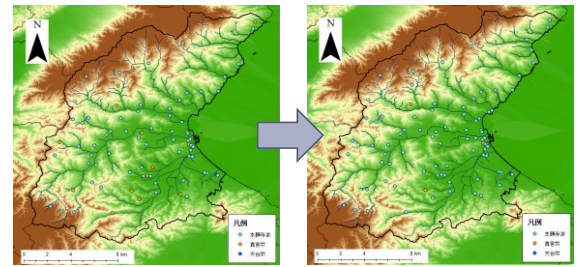
V 仏教寺院の分布の形成要因に関する考察



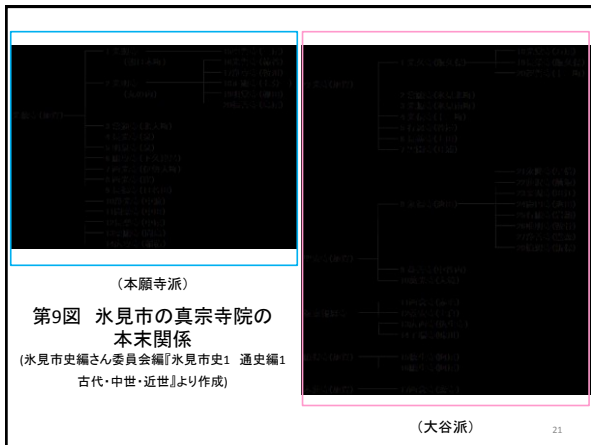
①真宗伝播前

②蓮如(第8代)の在任期間
(1457～1489年)第8図 浄土真宗寺院の分布の変遷
(『水見市寺社調査報告書』より作成)

19

③実如(第9代)の在任期間
(1489～1525年)④証如(第10代)～蓮如(第11代)の在任期間
(1525～1592年)

- ・蓮如および実如(第9代)の時代に真宗寺院が急増←**新寺の建立と真言宗からの改宗**
- ・蓮如→沿岸部 実如→余川川下流・上庄川流域

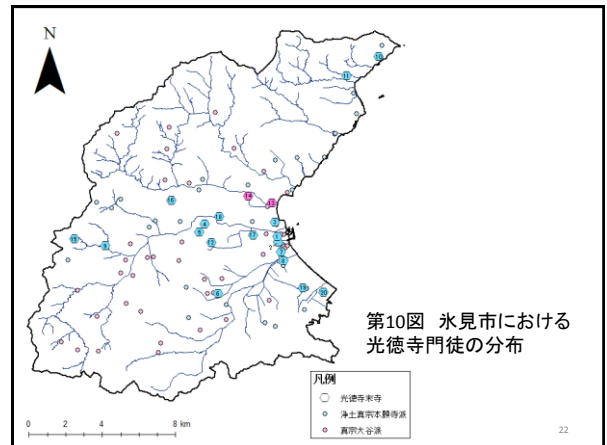


(本願寺派)

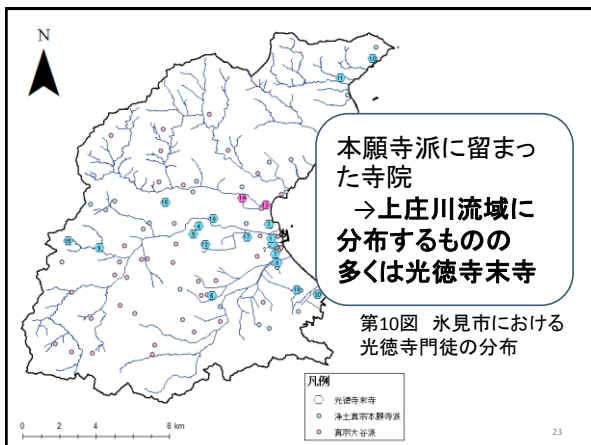
第9図 水見市の真宗寺院の
本末関係(水見市史編さん委員会編『水見市史1 通史編1
古代・中世・近世』より作成)

(大谷派)

21

第10図 水見市における
光徳寺門徒の分布

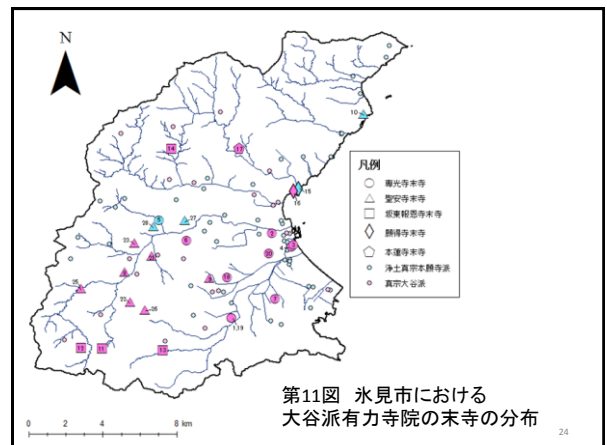
22



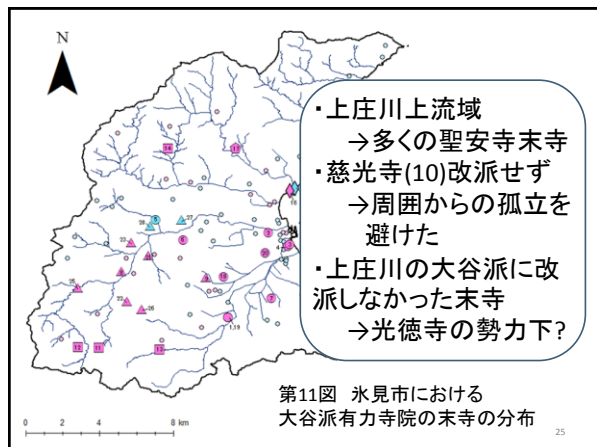
本願寺派に留まった寺院
→上庄川流域に
分布するものの
多くは光徳寺末寺

第10図 水見市における
光徳寺門徒の分布

23

第11図 水見市における
大谷派有力寺院の末寺の分布

24



VI おわりに(まとめ)



- ・氷見市域全体に寺院が散在
浄土真宗の性格⇔集落に立地
- ・蓮如→沿岸部 実如→上庄川流域を中心に
真宗寺院が急増
→各時期の布教活動のルート?
- ・氷見市における本願寺派と大谷派の偏在性
→・本寺の改派の動きに同調...**本末関係**
・周囲の寺院に同調...**地縁関係**

25

VI おわりに(課題)

氷見市における寺院の分布の形成要因について満足に解き明かしたとは言えない。

- ・蓮如・実如の布教活動場所を示す根拠が現時点では無い
- ・本末関係・地縁関係で説明できるのは一部に限られる
- ・当時の氷見ではどのような地縁関係が結ばれていたのか不明

などなど...

27

- ・嶋田奈穂子・山根 周 2010. 滋賀県野洲川流域における神社の立地特性に関する研究. 日本建築学会計画系論文集75(647):111-118.
- ・全国寺院大鑑編集委員会編 1991. 『全国寺院大鑑 下巻』法蔵館.
- ・高田知紀・梅津喜美夫・桑子敏雄 2012. 東日本大震災の津波被害における神社の祭神とその空間的配置に関する研究. 土木学会論文集F6(安全問題) 68(2):167-174.
- ・富山県経営管理部統計調査課編 2014. 『富山県統計年鑑 平成24年』富山県.
- ・永幡 豊 1983. 北海道における神社の分布について. 北海道地理57:20-25.
- ・永幡 豊 2013. 北海道における仏教寺院の分布について. 地理学論集88(1):6-13.
- ・氷見市 2013. 『氷見市の統計 平成25年版』氷見市.
- ・氷見市神社所蔵文化財調査委員会編 1993. 『平成3・4年度 氷見市神社調査報告書 浄土真宗本願寺派の部』氷見市教育委員会.
- ・氷見市神社所蔵文化財調査委員会編 1995. 『平成5・6年度 氷見市神社調査報告書 真宗大谷派の部』氷見市教育委員会.
- ・文化庁編 2013. 『宗教年鑑 平成24年版』ぎょうせい.
- ・いらすとや <http://www.irasutoya.com/>
- ・国土数値情報ダウンロードサービス <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>
- ・真宗教団連合 <http://www.shin.gr.jp/>

28

ご清聴ありがとうございました。



29